

お客様
への責任

製品の安定供給

デジタル化・ネットワーク化を背景に高まる製品需要に応えるグローバルサプライチェーンの強化に努めています。

製品の安定供給の考え方

製造業にとって、お客様に対する製品の安定供給は、お客様のご満足、ご支持をいただくためにもっとも重要な責任の1つです。

市場の状況はカシオ商品の競争力だけでなくその地域の経済状況によっても左右され変化しますが、必要な商品をお客様が必要な時にタイムリーに、そしてお買い上げいただける適正な価格と品質をもって継続的にお届けできる体制を維持する事が必要と考えます。

この観点からカシオは以下の4つの方針を掲げグローバルサプライチェーンの強化と質の向上に努めています。

●●製品安定供給の方針

- ①ITを駆使したサプライチェーン(部材調達～生産～物流～販売～サービス)の合理化による生産リードタイムの短縮と計画実行精度の向上
- ②安定した材料調達のために必要な部材供給各協力企業との良好な協力関係の構築
- ③生産活動における様々なリスク要因への備えとしての2拠点分散生産体制とグループ工場の複数品目対応化によるリスク対応への柔軟性の維持
- ④商品別に地域特性(市場近接性、技術力、部材調達環境、人件費、物流費、為替リスク)に応じた最適な生産分業の体制の構築

生産供給体制の強化

カシオは、商品をより経済的な価格でお客様へお届けするため、生産の60%(金額ベース)を海外で生産しています。

このことは同時に日本と異なる文化背景や各種制度の変化、経済状況、為替の変化、技術漏洩など種々のリスクに晒されていることを意味し、それらに対する備えが重要な課題となっています。

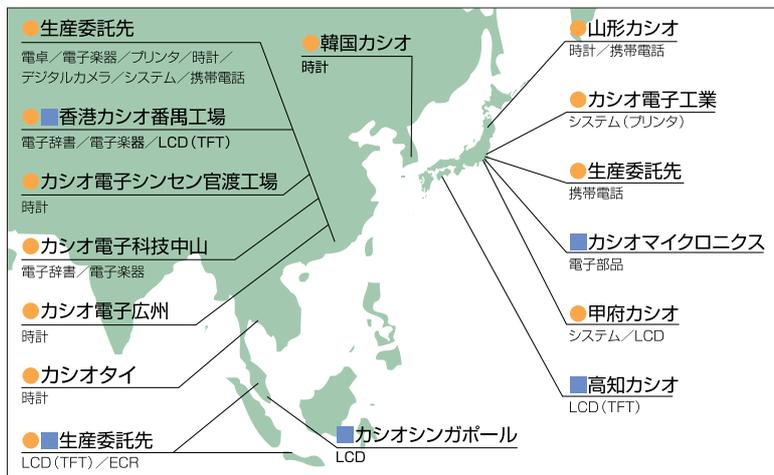
カシオとしては、個々のグループ生産拠点を複数品目対応型へ再編強化し、効率化と原価率の低減を図ろうとしています。そして特に中国華南地域における管理拠点の人材の最適配置により、機能面の効率化とともに内部統制の強化で、事故発生時の対応迅速性を高めることを目指しています。

エレクトロニクス機器製品の生産体制強化の実績と計画

2005年12月より、電子楽器生産拠点のカシオ電子珠海と電子辞書、電卓生産拠点のカシオ電子中山の2つの子会社を清算し、新規設立のカシオ電子科技中山(床面積40,000m²)に両品目の生産を集約しました。これにより季節負荷変動パターンの異なる2品目の相互補完による負荷平準化が実現し工場全体の稼働効率が大幅に向上しています。同時にカシオ電子科技中山と香港カシオ番禺工場の間で生産方式の共通化を実施し相互の操業度リスク補完性を高めています。

一方、管理面では、今後グループ外の生産委託先協力企業群を含めた華南地域全体で、このカシオ電子科技中山を軸にした負荷配分の最適化を効果的に集中管理する予定です。

品目別生産供給体制 ● エレクトロニクス機器事業 ■ デバイス事業



カシオ電子科技中山



カシオ電子科技中山 内部